

日本発、モバイルブロードバンド

携帯電話用周波数の利用拡大に関する検討会

意見交換会資料

2004年12月14日

アイピーモバイル株式会社
代表取締役社長 杉村五男



1. 質問と回答

〔 質 問 〕

新規事業者が参入する場合に、単に料金が安くなるだけではなく、新しい技術、新しいサービスが提供されることが望ましいと考えるが、技術やサービスの面で既存事業者と異なる点はあるのか。

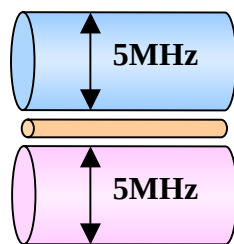
〔 回 答 〕

弊社は、これまで商用化がなされていないTD-CDMA技術の採用を予定しております。TDD（時分割）の特徴を最大限にいかし、同方式ならではのデータ通信を中心とした新しいサービスを考えております。

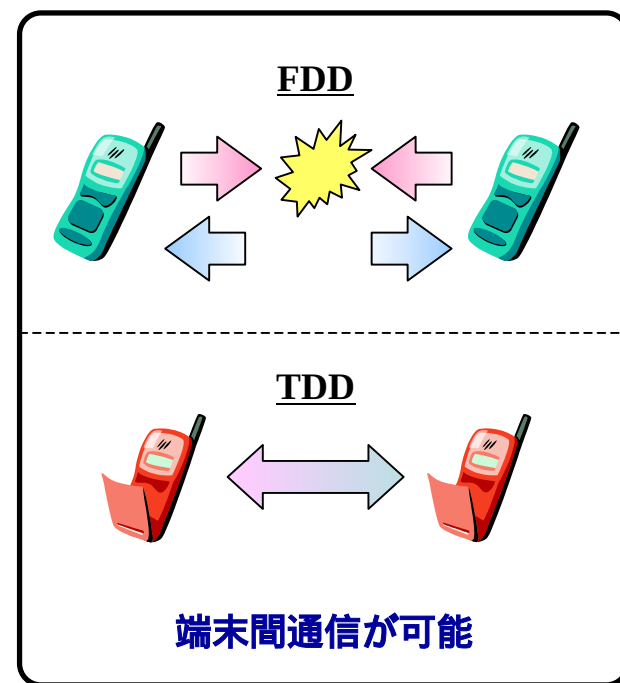
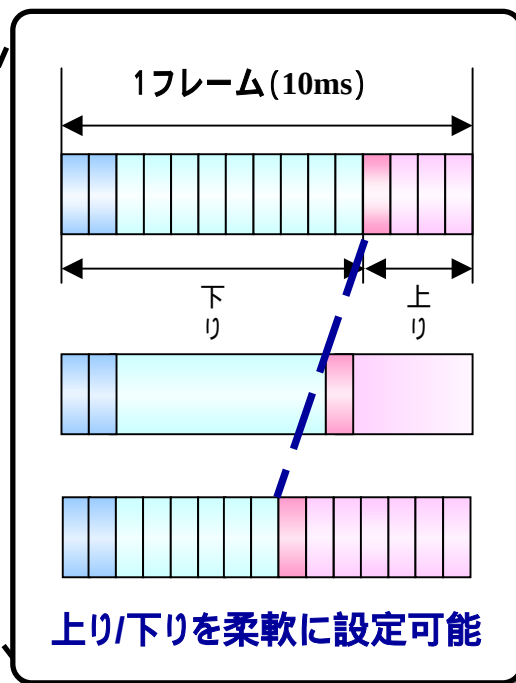
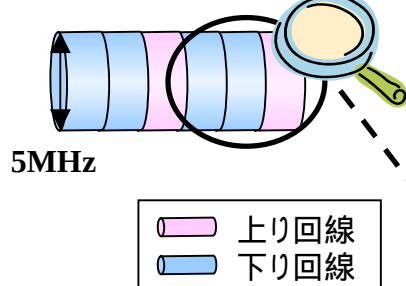
2. TDDシステムの技術的特徴

- ◆ひとつの周波数帯を時分割して、上下回線として使用する。
- ◆タイムスロットの設定により、上下回線のリソースを柔軟に割り当てることができる。
- ◆端末間通信ができる。
- ◆無線部分の共有チャンネルによるシステム構成。

W-CDMA (FDD)



TD-CDMA (TDD)



3. 移動体通信サービスの領域

- ◆ 携帯電話端末の多機能化、高度化が進み、サービスも多様化していく。
- ◆ サービスの多様化は収益を押し上げるが、飽和状態になりつつある加入者数を補い、次の成長曲線を描くのは難しい。



4. TDDの技術的特徴をいかした事業領域

- ◆ 組込型端末通信市場 (Machine Market) にもフォーカスすることで、新しい領域での発展可能性が生まれる。
- ◆ ユビキタスは、非常に多くの端末間通信のネットワークによって実現される。

<Person Subscribers>

単 価: 高
端末数: 中

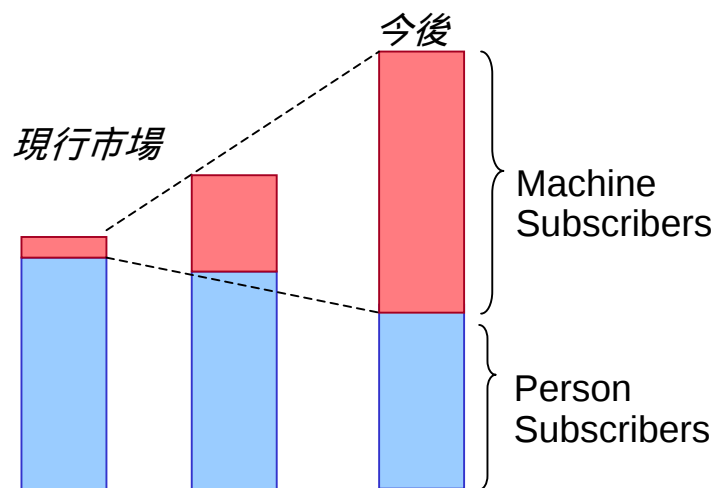
<Machine Subscribers>

単 価: 低
端末数: 極多



ユビキタスのイメージ

通信事業の構造変化のイメージ



Person Market



Machine Market

